



みんなで育てる 未来のチカラ



これまでの様子

令和8年7月7日 「みんなで育てる 未来のチカラ」を開催！

学校関係者、PTA会員、民生児童委員、トワイライトスクール関係者、行政など多様な方と学び合いました

テーマ：子どもの人権について考える～対話を通して～

前半は、対話とは何なのか、会話とは何が違うのかについて、グループで話し合いました。

講師の若杉様より、「対話では、発語しないといけないか」「聞くだけでも対話、聞くことこそ対話なのではないか」「対話は、人と人の関係性だと思う」「対話は自分を大切にすることかもしれない」という、問いかけやお話をいただきました。

会場の様子

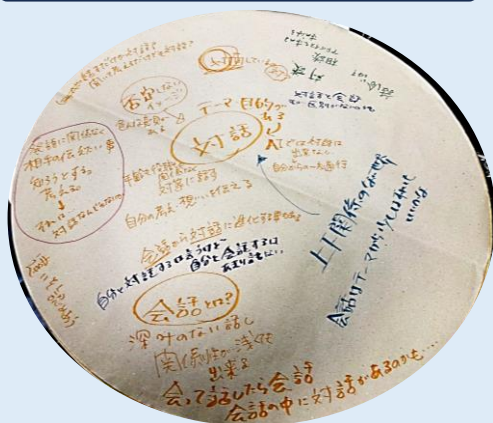


ひらけごま。代表
一般社団法人
ひらけエデュケーション代表理事
若杉 逸平 様

【対話とは？】

- ・相手を尊重し、人権を意識しながら話すこと。
- ・相手の思いや考えを聞き、自分の思いや考えを伝えようとする。
- ・あるテーマについて話し合うこと。
- ・会話はおしゃべりをする事で、対話は心のつながりをつくること。

グループワークで書かれた意見



【子どもの人権を大切にするには？】

- ・子どもへの思い込みや決めつけについて、自分の中で振り返ったり、今回のような研修でアップデートしていく。
- ・子どもの思いを聞く（でも、自分の子どもとなると聞けていないときも・・・）。
- ・大人が子どもの対話の機会を奪わないようにする。
- ・大人も子どもも、相手の思いや考えを大切にする。
- ・「子ども」「大人」とわけず、一人の人として接する。

最後に講師の若杉様より、「子どもを大切にするために、まずは自分を大切に」「『自分を大切にするには、どうするとよいか』という問いをもってほしい」「子どもも大人も一人の人間。何かをしようとするだけで価値がある。大人も頑張っている。そういった姿を子どもにも伝えたい」というお話をいただきました。

当日のグループワークの様子



アンケートでいただいた、みなさまからの声

- ・ 様々な分野の方と意見交換できたのが、大変良く、新たな気づきを得ることができました。人それぞれに様々な考え方があることを知りました。
- ・ 子どもとの「対話」を意識したいと思いました。そのためには、大人に余裕が必要とも思います。
- ・ 普段の活動の中で、子どもの人権について学ぶ機会を取り入れたいと思います。
- ・ 子どもの人権を大切にするために、大人がどんな関わりをするとよいか考えるきっかけをいただけたことに感謝しています。
- ・ 子どもの人権について考え直すことができました。
- ・ 子どもと関わる活動をしているので、今回の研修のように、子どもの人権について学ぶ場が定期的に必要だと感じました。
- ・ 対話形式の話し合いを通して、お互いを理解することができました。子どもたちの意見を否定せず、傾聴できるようにしていこうと思いました。